

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成 29 年度採択）

中間評価（案）（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評 価
29-7	耐候性鋼橋梁の診断・補修技術の高度化についての研究開発	山口大学 教授 麻生稔彦	B
<p><研究の概要></p> <p>本研究開発では、耐候性鋼橋梁の効率的かつ合理的な維持管理を可能とするために、耐候性鋼材の腐食の診断技術および補修技術の体系的高度化を目的とし、診断補修マニュアルの構築を目指す。これにより、耐候性鋼橋梁の維持管理費の縮減が可能となる。</p> <p><中間評価結果></p> <p>腐食予測シミュレーション技術の開発、腐食判定法の高度化、環境に応じた補修方法の検討等、一定の研究成果を上げているが、各研究項目間の関係整理に課題があることから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各研究開発項目について、相互の関係性とそれらを一体で進めなければならないことの必要性や効果について明確にした上で体系的に研究成果をとりまとめていただきたい。 2. 取り組みを予定している研究開発項目をパッケージングした成果の提案にこだわりすぎず、各要素技術について実用化につながる観点でさらに精度向上や改善についても努めていただきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 36 回新道路技術会議において審議したものである。